

## 川越線複線化に関するご報告

### JR川越線複線化実現の要望書を市長に提出！

地元の皆様からいただいた3万5166人分の署名と共に要望書を市長に提出しました。それをうけて市長からJR東日本大宮支社長に要望書を提出していただきました。現在、関係機関(さいたま市、埼玉県、川越市、国土交通省、JR東日本)で「JR川越線荒川橋梁の複線化仕様での架換えに関する協議会」が発足し、これまで2回の会議が実施されています。(JR東日本はオブザーバー参加)複線化仕様の橋りょう架換えに関する課題の抽出と、それをふまえた調査費として400万円の予算が計上されました。(さいたま市・川越市各100万円埼玉県200万円負担)

調査内容:複線化の効果、技術上の課題、複線化のルート、複線化仕様の橋りょうの形状等の分析・検討。国とJR東日本の協力を得ながら県が発注する形で行われます。



←沿線の西区、北区自治会長、国会・県会・市議会議員で要望書と署名を清水市長に提出しました。

清水市長からJR東日本大宮支社大西支社長に要望書を提出していただきました



川越線複線化実現への要望に関して、3万5000筆以上の多くの署名をいただきましたこと、心から御礼申し上げます。荒川第2第3調節池に関連して鉄橋の架換えが迫っており、このタイミングでの多くの署名による複線化の要望は、協議会やJRへの大きな後押しとなっています。コロナ禍の中、在宅ワークが広がり、鉄道利用者が減少する大変厳しい状況ではありますが、第一歩が踏み出せたところです。これからはしっかりと働きかけてまいります。引き続きのご支援を何卒よろしくお願い申し上げます。



市政に関するご意見・ご要望がございましたら、お気軽に声をおよせ下さい！ Tel:090-5785-6681 FAX:048-778-9345

### プロフィール

1959年 島根県生まれ。国立療養所刀根山病院附属看護学校/大阪府立公衆衛生専門学校保健学科卒業。保健師として保健センター2年、看護師として病院9年、看護学校教員として20年(内教務主任9年)勤務。日本看護協会・日本看護連盟会員。

夫 故稲川晴彦市議会議員の後を継いで2015年さいたま市議会議員初当選。現在2期目。

〒331-0061 さいたま市西区西遊馬 1272-1 (2F)  
TEL 048-621-1000 090-5785-6681  
FAX 048-778-9345  
Mail:inagawa.satomi@gmail.com  
HP : https://www.inagawa.satomi.net/

# 稲川智美事務所

さいたま市議会議員【西区】 市政レポート

# いながわさとみ 11号

編集・発行  
稲川智美  
2021年 春

## 新型コロナウイルス感染症特集④

### これからのコロナに関する支援制度

#### 新型コロナウイルスのワクチン接種が始まります

医療従事者の方からワクチン接種が始まりました。4月中旬に特別養護老人ホーム入所者の方から順次施設入所の方、市内在住の高齢者の方(昭和32年4月1日以前に生まれた方)に接種予定。年齢によって優先度が決まります。その後一般の方(16歳以上)に行われる予定です。接種方法は、市内270箇所の病院や診療所での個別接種が中心となり、補完的に西区では区役所とイオン大宮西店での集団接種も行われる予定です。今後の接種予定に注目してください。

ワクチンは個人の発症と重症化の予防の他に周りに広げないという重要な意味があります。副反応の心配は主治医の先生に相談した上で積極的にワクチン接種を行っていただきたいと思います。

コロナワクチンコールセンター (土・日曜日、祝日を含む、9時~17時)

☎ : 0570-028-027 FAX : 0570-020-810

#### 市内小規模事業者へ10万円支給

令和3年3月29日から6月30日まで  
時短支給金の対象になっていない事業者  
さいたま市独自の支援策(第2弾)

給付金コールセンター

☎ : 0120-361-551 (8:30~18:00)

いろいろな支援が準備されています。困っていることがあれば、遠慮なく区役所や市役所に相談しましょう



発熱などの症状がある場合は受診の前に医療機関か相談センターに聞いてください。☎048-762-8026 (9:00~17:30)

#### 新年度予算での新規のコロナ対策(一部)

- ①患者の受け入れを行った医療機関への補助
- ②自宅療養する患者への食料品の配送
- ③PCR検査を行う外来・検査センターの増設
- ④コロナに関する相談事業
- ⑤感染症患者移送事業
- ⑥患者対応のための個人防護具の調達

#### 変異ウイルスによる感染症が拡大

感染力はこれまでのウイルスより強いと言われていますが、私たちにできることはこれまで通り、マスク、手洗い、アルコール消毒、3密対策をしっかりと行っていくことです。

コロナ疲れで辛い毎日ですが、頑張ってください！

マスク会食を心がけましょう

